

令和7年度 東郷町立音貝小学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和8年3月11日（水）
10時00分から11時30分まで
場所：東郷町立音貝小学校 校長室

1 開会の言葉（進行：教頭）

音貝小学校教頭：横井先生より開会の言葉

2 校長あいさつ

音貝小学校校長：柳川先生よりあいさつ

3 議事

(1) 本年度の学校評価アンケート結果について

教頭より報告あり。内容は以下のとおり。

- ・児童、保護者、教職員を対象に実施したアンケート（全12項目）では、概ね「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が多数を占め、肯定的な評価を得ている。

(2) 学校経営を振り返って

校長より説明あり。内容は以下のとおり。

- ・本年度は創立50周年を迎え、「自分よし 相手よし みんなよし」を合言葉に5つの重点項目に取り組んだ。
- ・成果について
 - 授業において「めあて」を明確にする取り組みが定着し、児童自身も学習の目的を理解して取り組んでいる。
- ・課題について
 - ①不登校傾向の児童が増加している。「困った時に相談できる先生がいる」という項目の肯定的な回答が若干減少しており、多様な価値観を持つ児童へのきめ細かな対応と児童理解が急務。予測困難な社会を生き抜くため、探究学習等を通して「児童自らが課題を見つけ、解決する力」の育成が必要である。
 - ②熱心な教員が多く、自主的な研修や保護者対応により超過勤務が発生している。次年度は、定時退校日（月2回・17時以降の留守番電話切替等）の徹底や業務の精選を図る。これらの課題解決には、「地域チーム音貝」としての地域の支えが不可欠である。

(3) 質疑応答

（委員）児童自ら課題を解決する力について、学年に応じたステップ（一覧表など）があると保護者や地域にも分かりやすい。

（学校）発達段階に応じた取り組みを進め、可視化についても検討する。

- (委員) 「自分のことは自分でできる」という基本的な生活習慣について、学校だけでなく家庭での教育（しつけ）の役割が大きいのではないかと。
- (委員) 学校に過度に依存するのではなく、家庭での道徳やしつけの重要性を保護者に理解してもらうための働きかけが必要。
- (学校) 保護者からの学校への要望が多様化・増加している傾向があり、家庭との適切な連携や発信方法について引き続き模索していく。

(4) 次年度への課題と提言について

- (委員) 定時退校日が「月2回」では少なすぎるのではないかと。働き方改革を推進するためには、週単位での設定など、より踏み込んだ取り組みが必要である。
- (学校) 次年度からは休日の部活動地域移行等も進むため、多少の業務負担軽減が見込まれる。対人関係の時間を大切にしながらも、教職員の意識改革と業務の合理化を進めていきたい。
- (委員) 児童とのコミュニケーションに十分な時間をかけてほしいという思いと、教職員には早く帰ってほしいという矛盾した思いがあるが、教員の心身の健康のためにも業務削減を進めてほしい。

(5) 地域とかかわる事業の今後の予定について

学校より報告あり。

○50周年事業を機に、地域の回覧板等でボランティアを募集したところ、多数の参加協力を得られた。学校単独の発信では集まらなかった人材が、回覧板等を通じた地域連携により集まっており、大変感謝している。次年度も継続して協力をお願いしたい。

→主なボランティア内容

- ・草取りボランティア
- ・ヘチマ棚の建設準備（次年度4年生理科用）
- ・キャリア教育への講師参加
- ・ミシンボランティア（5年生家庭科）
- ・50周年記念花壇の整備・園芸指導
- ・外国籍児童（ベトナム語）への通訳・学習支援ボランティア

→ボランティアに参加した委員より感想と意見あり。

- ・ミシンボランティアに参加したが、非常に楽しく活動できた。ボランティアの年間スケジュールが事前に分かると参加しやすい。

○児童の生活様式多様化に伴う下校班の少人数化対策と、教職員の業務改善のため、次年度より下校方法の変更を検討している。1・2年生は従来通りだが、3年生以上は「学年ごとの方面別下校」に変更予定。PTA等からは概ね賛同を得ており、試行期間を経て導入を判断する。

→委員からの意見は以下のとおり。

- ・3年生以上でも、交差点等での自転車との接触事故が懸念される。

行政・警察と連携した通学路の安全対策（路面標示など）が必要ではないか。

(6) その他

指定避難所としての運営体制や訓練の実施状況について

（学校）初期対応（鍵開け等）は教職員が行うが、本格的な運営は行政（町）や地域住民が主体となる想定である。

（委員）有事の混乱を防ぐため、町の防災安全課を中心に、学校・地域での役割分担の明確化や合同訓練を進める必要がある。

5 連絡事項

連絡事項なし

6 閉会の言葉

教頭から閉会の挨拶あり。